

②玄関口にふさわしいおもてなし環境づくり

新たな大阪の玄関口として、インバウンドをはじめとした来街者が楽しく快適に過ごすことができる環境づくりや、官民連携による地域の魅力向上を進めます。また、アンケートで意見が多く寄せられた来街者・観光客への多言語によるマナー啓発についても、観光情報の提供とあわせて取り組みます。

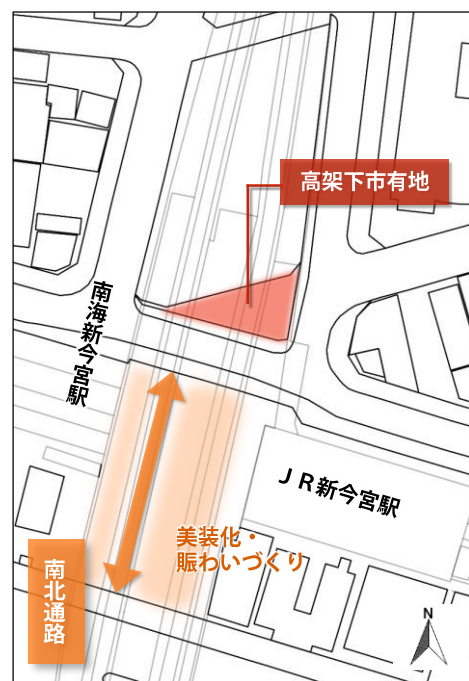
●南海新今宮駅高架下空間の利活用

南海電鉄新今宮駅の高架下の市有地を活用し、民間事業者による観光情報の提供や飲食・物販などのサービス施設の整備を進めます。具体的には2019年度に実施したマーケット・サウンディングの結果を踏まえ、2020年度以降に事業者公募を行います。

また南北通路の美装化や、通路に面した賑わいづくりを実施します。



高架下空間の利活用イメージ



南海新今宮駅高架下 位置図

●官民連携による地域の魅力向上

●新今宮エリアブランド向上事業

大阪の新たな玄関口となる「新今宮エリア」の歴史・文化・賑わいの魅力を発掘・発信し、エリアのブランディングを図る事業を実施します。

●新今宮・天王寺プロモーション

レトロとモダンの対比、歩いて回遊できる街としての魅力などを発掘・発信し、新たな誘客に繋げるエリアプロモーションを実施します。

●星野リゾートによる「ご近所アクティビティ」

「星野リゾート OMO7 大阪新今宮」のホテル宿泊者を対象に、エリアの魅力を発見できる「ご近所マップ」や、「OMOレンジャー」によるまち歩きガイドツアー等により、来街者が地域魅力を気軽に体験できるサービスを実施します。

●外国人人材育成や、ビジネス・交流の活性化

YOLO BASEにおける外国人の人材育成に加え、ビジネスマッチングや外国人による起業支援などの機能拡充により、高度人材の集積や、地域住民や留学生を含めた多文化交流による地域活性化を図ります。

③交流軸に沿った賑わい・憩い空間の創出

まちの動線イメージで「交流軸」として設定した南北道路、東西道路に沿って、「居心地がよく歩きたくなるまちなか」を意識しつつ、なんばや天王寺・阿倍野とつながる賑わい・憩い空間を創出します。交流軸に沿った賑わいの創出が進むことで、明るさや人通りが増加し、アンケートで意見が多く寄せられたまちの環境美化や防犯対策の強化にもつながることが期待できます。

●南海新今宮駅高架下空間の利活用〔再掲〕

●なんばや天王寺・阿倍野とつながる賑わい・憩い空間の創出

【南北道路沿い】

南北道路沿いでは、2019年9月に「YOLO BASE」が開業しました。今後は恵美公園の拡張整備や、南海高架下の空間を活用した「EKIKANプロジェクト」の延伸などにより、沿道の賑わい創出を図ります。

【東西道路沿い】

東西道路の北側では「星野リゾート OMO7 大阪新今宮」の整備が進んでおり、開業後は人々の往来が増え、賑わいが生まれることとなります。

JR高架下の空間を含む沿道の景観形成や賑わい創出のあり方について、将来的な駅改修の方向性の決定とあわせて検討します。

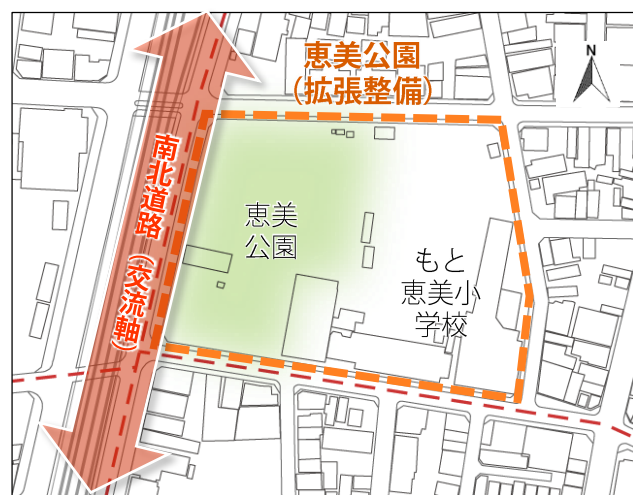


高架下に沿った賑わい創出のイメージ

●恵美公園の拡張整備

当地域における貴重な公共空間であるもと恵美小学校の公園整備を実施します。

整備にあたっては、既存公園とあわせて周辺のまちづくりと連動した新たな賑わいの創出を図るとともに、子育て世代も含めた多様な世代が利用でき、地域の防災力向上にも資する魅力的な公園となるよう検討します。



●賑わい創出に向けた社会実験の取組

交流軸に沿った賑わい創出や、恵美公園の整備に向けては、段階的な整備検討が必要なことから、タクティカルアーバンイズム(※)の手法を用います。具体的には、期間を定めたフリーマーケットや道路空間を活用したイベント、また、民間事業者が主体となるシェアサイクルやキックボードなどエリアの回遊性向上に向けた試行を通じ、課題抽出や整備手法の検討を行うとともに、エリアへの関心を高める仕掛けとして取り組みます。

(※) 長期的な視野に立ち都市整備を進めるため、小規模の社会実験を戦略的に行うことで、関係者の合意形成や市民の関心を高める方法。

④乗換動線の強化等に向けた駅改修の方向性の決定

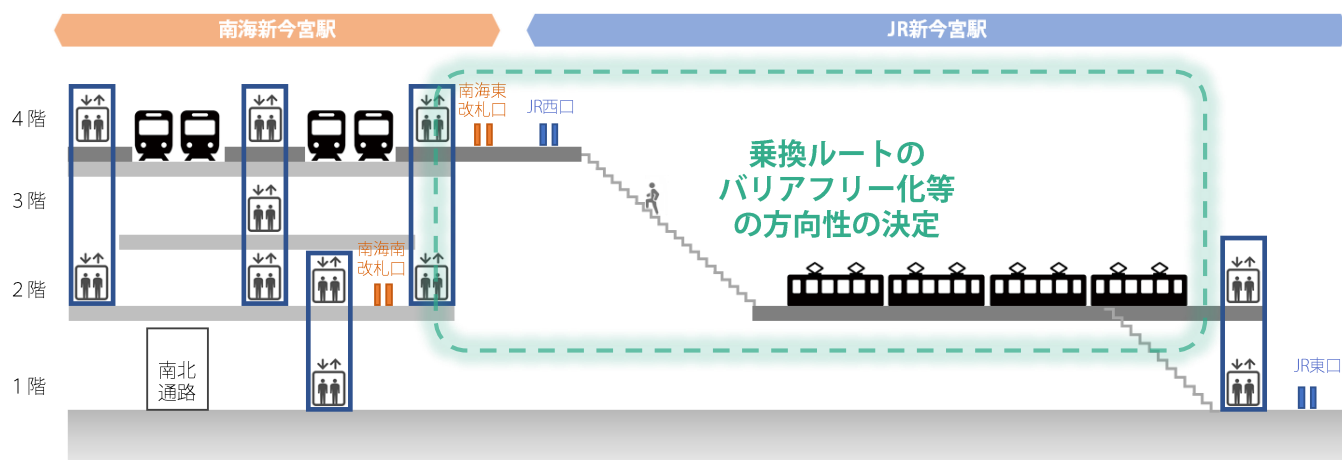
地域の方々や近年増加する来街者の利便性向上を図るため、新今宮駅の改修の方向性を決定します。

●新今宮駅（JR－南海間）の乗換ルートのバリアフリー化等の方向性の決定 (道路空間の活用検討を含む)

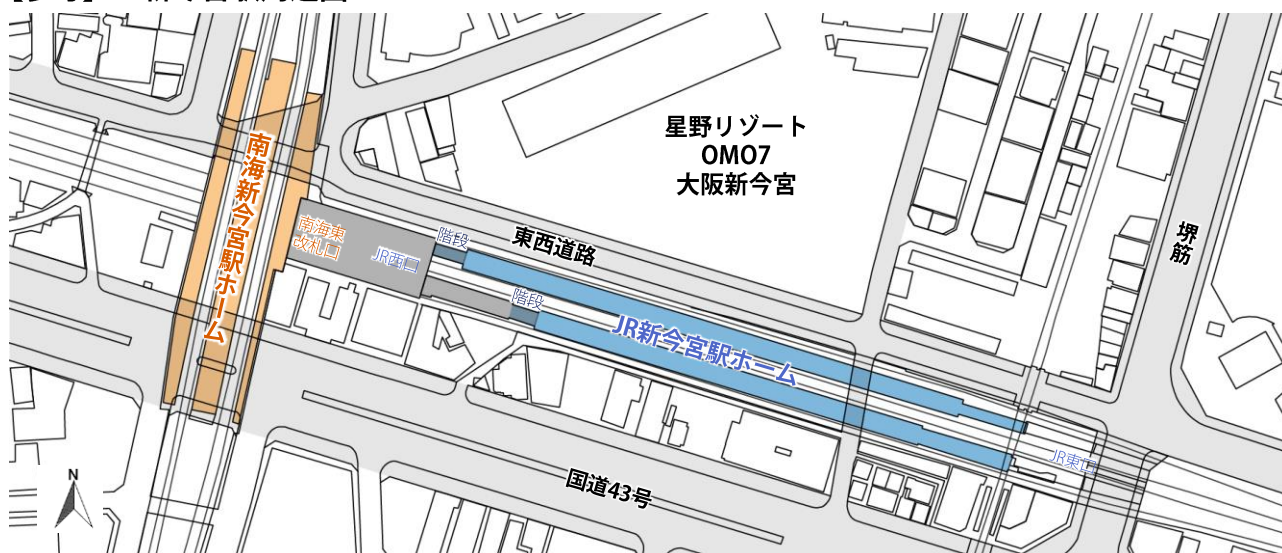
JR－南海間の乗換ルートのバリアフリー化の実現に向けては、大規模な駅改修が必要となるものの、鉄道事業者による検討では、鉄道用地内だけではバリアフリールートの確保を含む駅改修が困難であるため、道路空間の活用も視野に入れた改善策について、官民連携により方向性を決定します。

また、乗り降りしやすい駅のあり方、歩きやすいまちづくり、さらに道路空間の新たな活用方策や高架下空間との一体的な利用、管理運営のスキームについても、あわせて検討します。

■断面イメージ（東西方向）



【参考】JR新今宮駅周辺図



⑤ 駅周辺における適正な放置自転車対策

当地域の課題の一つである放置自転車対策について、自転車の利用動向や周辺地域の開発進展状況に応じ、駐輪場の再編・整備や、将来的な駅改修等に伴う駐輪対策のあり方を引き続き検討します。

● 将来的な駅改修等に伴う放置自転車対策のあり方検討

新今宮駅の改修や高架下の商業利用などにより、駅周辺の道路形態や駐輪環境も変わることが想定されます。

将来を見据え、今後も重要な地域課題となる放置自転車対策について、駅南側（西成区）と連携しつつ、新今宮駅周辺の自転車利用の特性を踏まえながら、自転車等放置禁止区域の指定及び駐輪場の有料化を検討します。

● 駐輪場の再編・整備

当地域においては、なにわ筋線の開業などの交通結節機能が強化されることに伴い駐輪需要の変化が想定されることから、引き続き鉄道事業者等と連携しながら、駅利用者の駐輪場の再編・整備について検討します。



5. まちづくりビジョンの実現に向けて

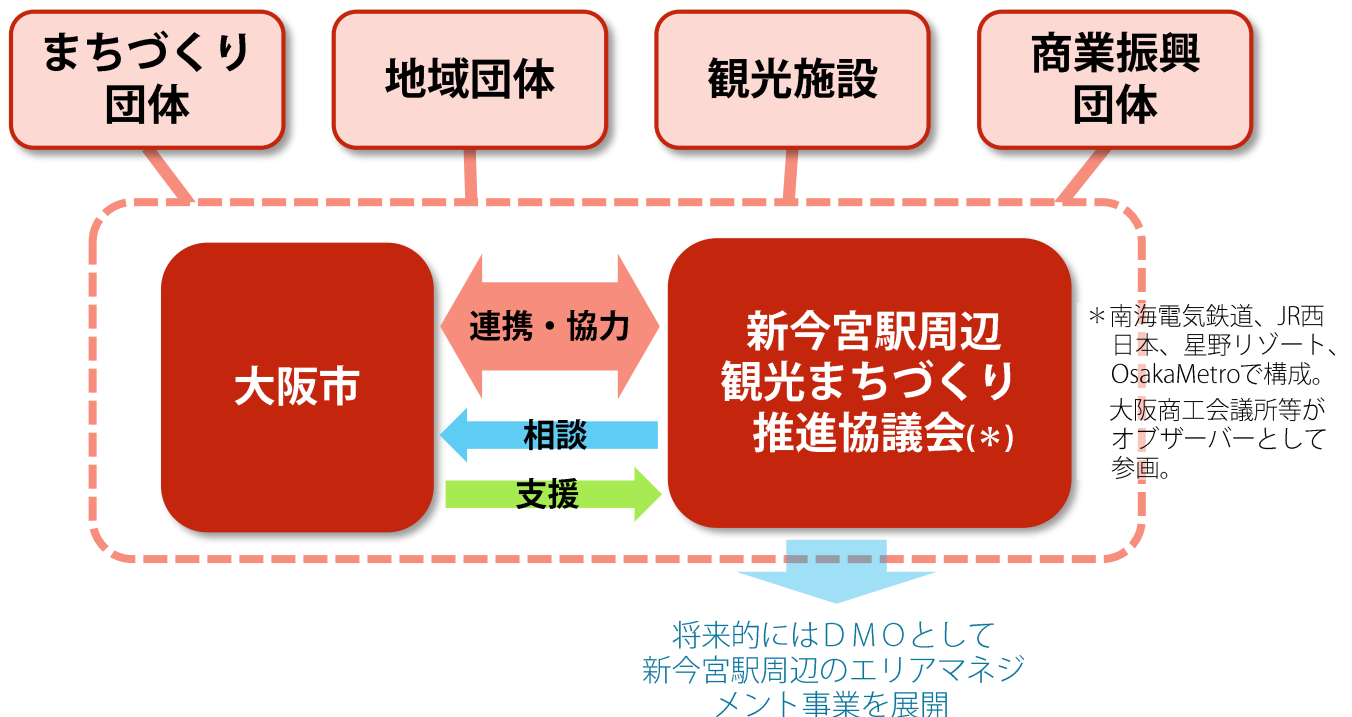
(1) 実現に向けたスケジュールイメージ

まちづくりの 方向性	フェーズ1			フェーズ2			
	★ YOLO BASE 開業 2019年度	2020年度	2021年度	★ 星野リゾート OMO7開業 2022年度	2023年度	2024年度	★ 大阪・関西 万博 2025年度
① 快適な歩行者空間の創出		歩道沿いフェンスの撤去・美装化					
			回遊性や生活動線を考慮した歩行者空間の検討・整備				
		駐輪場の移設					
② 玄関口にふさわしいおもてなし環境づくり		南海新今宮駅高架下空間の利活用					
		官民連携による地域の魅力向上					
③ 交流軸に沿った賑わい・憩い空間の創出		恵美公園の拡張整備					
		なんばや天王寺・阿倍野とつながる賑わい・憩い空間の創出					
④ 乗換動線の強化等に向けた駅改修の決定		新今宮駅（JR－南海間）の乗換ルートのバリアフリー化等の方向性の決定（道路空間の活用検討を含む）					
⑤ 駅周辺における適正な放置自転車対策		将来的な駅改修等に伴う放置自転車対策のあり方検討					
		駐輪場の再編・整備					

(2) まちづくりの推進体制

本ビジョンで定めた将来像の実現に向けて継続的に取組を進めていくため、また、関係機関との連携を円滑に進めていくため、まちづくりの推進体制を以下のように定めます。

■まちづくりの推進体制（イメージ）



民間事業者等で構成される「新今宮駅周辺観光まちづくり推進協議会」と大阪市を軸に、地域団体や商業振興団体、観光施設などの関係者が、解決すべき課題に応じて有機的に連携、協力及び意見交換できる場を設定します。大阪市は、本ビジョンの進捗管理を行うとともに、まちの安全・安心確保や美化向上などについて、引き続き関係者との連携により取組を進めます。